

凡 例

- 1、本資料は歴代宝案編集参考資料として、『歴代宝案』訳注本第13冊（第2集巻174～189）〔沖縄県教育委員会刊行〕の語注を、一覧表にまとめたものである。
- 2、通常使用されている文字（鄭や禎など）はそのまま使用し、あえて正字（鄭や禎）に直すことはしていない。
- 3、訳注本で語注を付した語句は総数2,051件である。うち、文字の異同等校訂に関わるような注などを除き、2,027件（語句1,766件、人名・地名261件）を抽出した。
- 4、配列は総画数順と五十音順に分け、それぞれ①語句、②人名・地名に分けた。
総画数順は訳注本第13冊に付した「語注索引」に準じるものである。
- 5、項目は、語彙、意味、種類（語積、人名・地名）、集、巻（巻番号）、号（文書番号）、注（注番号）、冊数、頁数である。
なお項目のうち、語彙欄にのみ記載があって他の欄が空白になっているのは「見よ項目」である。

2002年3月20日

(財)沖縄県文化振興会公文書管理部
史料編集室